



## ”Ion“ PowerDAC

エクソギャル ”イオン” パワーDAC

EXO GAL ”Ion” PowerDAC は、EXO GAL ”Comet”とのリンクによって、デジタルオーディオ信号をスピーカーの直前でダイレクトに大電力のアナログパワーに変換しドライブすることを可能とするデジタルパワーアンプユニットです。

この連携では、”Comet”は AES/EBU(XLR), S/PDIF(BNC), Toslink, USB-B など 4 系統の、384kHz までの PCM、並びに 5.6MHz までの DSD デジタルオーディオ信号に対する入力セレクター機能と、アップサンプリングとデジタルフィルターリング、I2S 変換などのデジタルプロセッシングを行なうデジタルプリステージの役割を受け持ちます。

そして、”Ion”は、”Comet”によってプロセッシングされ、EXONET という特別なインターフェースによって送られてくるデジタルオーディオ信号を受けて、デジタルボリュームコントロールと、整音のための更なるデジタルフィルターリング処理の後、スピーカー駆動を可能とする大電力のアナログパワーにダイレクト変換出力します。

その変換アルゴリズムは一般的な PWM(Pulse Width Modulation)によるクラス D 動作ではなく、一種の  $\Delta$ 変調によってスムーズなパワーを得る高音質設計。スピーカー駆動能力は大型パワーアンプにも匹敵する 8 オーム負荷 100Wx2、4 オーム負荷 200Wx2 というハイパワー。全帯域に亘る高いピュアリティが、クリアで芳醇な響きをもたらします。

デジタル・プリ/パワーとも言えるこの”Comet”+”Ion”のシステム総体で、アナログステージと呼べるものは、唯一、アナログパワー出力段でのパッシブ・ローパスフィルターのみ。理想的な、そして完全なるデジタルアンプ構成が実現します。





# "Ion" PowerDAC



## [ Specifications ]

- パワー出力: 2x200W@4Ω, 2x100W@8Ω
  - 最小ロード: 2Ω
  - ピーク出力電流: 2x20A
  - 周波数特性: 5Hz - 22kHz
  - THD: 0.03%@1W@全帯域@4Ω
  - 出力ノイズ: 170μVRMS A-Weighted 10Hz-20kHz
  - ダンピングファクター: >30 into 1Ω >100 into 4Ω
  - 出力インピーダンス@100Hz: <0.03Ω
  - ダイナミックレンジ: >105dB, A-weighted
  - 入力コネクション: EXONET デジタルインターフェース
  - スピーカー出力: 3ウェイ・バインディングポスト
  - 電源: 100VAC, 50/60Hz
  - 消費電力: 800W(最大), 50W(平均), <2W(スタンバイ)
  - 外形寸法: 292W x 47.6H x 190D (mm)
  - 重量: 4.08 kg
  - 筐体: モノリシックアルミニウム切削加工/アノダイズ処理(シルバーorブラック)
  - 付属品: 専用セパレートパワーサプライ(24VDC 出力), EXONET ケーブル
- ※仕様は予告なく変更することがあります。



Comet(写真上)とIon(写真中)をEXONETケーブル(写真下)で接続。  
デジタル入力選択、ボリュームコントロール操作はComet側の  
コントローラーで行ないます。

## ■EXOGAL とは:

2013年スタートの最もホットなアメリカのデジタルオーディオ機器メーカー。かつてワディアのメイン・エンジニアとして、一世を風靡した往年の名器Wadia27, Wadia9など多くの優れたDACを設計したJim Kinne(ジム・キニー)氏がチーフ・テクノロジー・オフィサーを努め、DSPに秀でたJan Larsen(ジャン・ラーセン)氏とともに設計に携わっています。最先端のデジタル技術を駆使した極めてリーズナブルなコストの高音質ハイエンドデジタルオーディオ機器の開発を目指し、2014年、第一弾となるUSA生産による"Comet Computer DAC"をリリース。以後引き続き、デジタルコントローラーなど、斬新な企画も予定され多くの期待を集めています。因みに、"EXOGAL"とは、EXO(外)と、GAL=GALAXY(銀河)を組み合わせた造語。"銀河の彼方、遥かなる存在"をイメージしたブランド名です。